「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌
Vol.40
2020 7月-9月
2020 7/10発行
TAKE FREE

Close Up

ザ・シンフォニーホール再始動! 公演レポート

新型コロナウイルス感染症拡大防止策に関するお知らせ

ほか

Sinfonia
シンフォニア

Gerhard Oppitz

ピアノ：ゲルハルト・オピッツ

指揮：下野竜也

管弦楽：広島交響楽団

“讃”平和を讃えて 広島交響楽団

第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

Sinfonia シンフォニア

www.symphonyhall.jp

Vol.40

2020.7-9
2020.7.10発行

contents

02 ザ・シンフォニーホール再始動! 「日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.19」公演レポート
04 The Symphony Hall Quality
お客様に安心してご来場頂くための、新しいザ・シンフォニーホール基準
06 The Symphony Hall プレミアム コンサート Vol.4
マーラー第5番 -日本の日の出を願う-
08 ダニール・トリフォノフ ピアノ・リサイタル
アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル
09 シャルル・リシャール=アムラン オール・ショパンプログラム「雨だれ」
10 “譜”平和を讃えて 広島交響楽団 第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演
11 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール
BEST OF BEETHOVEN 竹澤恭子インタビュー
12 クリスマス アヴェ・マリア ～世界を繋ぐアヴェ・マリア～ 砂川涼子 ソプラノ・リサイタル
13 ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2020
14 東京佼成ウインドオーケストラ 第5回大阪定期演奏会
15 岡 幸二郎 ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート in OSAKA
16 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 新 超絶のオペラ座の怪人
プロジェクションマッピング×パイプオルガン
超絶のボヘミアン・ラプソディ QUEEN×ABBA
17 美しき日本のうた「秋」
18 新型コロナウイルスと闘って下さる方々へ 『拍手』と『感謝』を贈るコンサート
19 ホールトピックス　振替公演のご案内
20 ABCテレビ主催公演・イベント情報
24 日本センチュリー交響楽団
26 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.40
27 Concert Calender 2020.7~2020.9

※本誌は6月29日までの情報をもとに制作致しました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況次第で記載公演が中止もしくは延期となり、内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

7月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:7月23日(木・祝) 10:00AM～
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
(10:00~18:00 火曜定休)
●WEB:http://www.symphonyhall.jp/

登録費 年会費 無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonyhall.jp/ からご登録下さい。
携帯・スマートフォンをご使用の方はこちらからアクセスしていただけます。

▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3 ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonyhall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報のご提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

お客様におかれましては、
多々ご不便をおかけすることと存じますが、
コンサートを楽しみにご来場頂いたすべてのお客様の安全に配慮し、
皆様と共に感染拡大の防止に努めていく所存でございます。

P4~P5の
「The Symphony Hall Quality」
も併せてご一読ください。

The Symphony Hall へご来場のお客様へ

館内施設及び貸し出し物等の当面のご利用についてのお願い

いつもザ・シンフォニーホールをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。当ホールは6月20日より公演を再開致しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在、館内の施設・設備及び貸し出し物のご利用を一部休止・制限させて頂いております。ご来場前にお読みくださいますよう、お願い申し上げます。

カフェ・ショップ・プレイガイド

カフェ・ショップ・プレイガイドは当面の間、営業を休止致しております。尚、チケットのご購入は、お電話またはWEBにて受付をしております。営業を再開しましたら是非、お立ち寄り下さい!

貸し出し車椅子

貸し出し車椅子のご利用は、介添人の方とご来場頂き、公演前日までに各主催者へご予約をされた方に限らせて頂きます。

クローク・貸し出しブランケット

クロークサービスは休止致しております。お手荷物はお手元で管理頂き、コインロッカーも併せてご利用下さい。また、ブランケットの貸し出しも休止致しておりますので、体温調節のしやすい服装でご来場下さい。

ウォーターサーバー・ウォータークーラー

館内に設置しているウォーターサーバー及びウォータークーラーのご利用は休止致しております。3階サイドロビーに自動販売機がございますので、是非ご利用下さい。

※公演によってはご利用頂けない場合がございます。
※客席内でのご飲食はご遠慮頂いております。

ロビーの椅子・ソファ

各階ロビーの椅子、ソファのご利用を一部制限させて頂いております。お客様同士の距離を保ってご利用頂きますようお願い致します。

公衆電話

館内の公衆電話は、ご利用を休止致しております。ご不便をおかけしますが、ご連絡手段を事前にご検討くださいますようお願い致します。

実演ならではの美しい響きで音楽の喜びを取り戻した

音楽がホールに帰って来た。そんな印象を受けた人も多かったのではないか。6月20日に行われた『ハイドンマラソンHM.19』は、日本センチュリー交響楽団にとって実に117日ぶり、ザ・シンフォニーホールにとっても実質2月29日以来のコンサートとなった。

ハイドン後期の円熟を告げる3つの交響曲は、温かく力強い響きでホールを満たした。ステージ上の楽団員の人数を絞り込み、それぞれが1.75mの間隔を確保。管楽器奏者の前にはアクリル板を置いての演奏であったが、持ち前の精緻なアンサンブルが損なわれることはなかった。飯森範親とセンチュリーは実演ならではの音楽の喜びを鮮やかに蘇生させたのだ。

ホールスタッフはマスクとフェイスシールドを着用。来場者へも検温、手指消毒、マスクの常時着用を求めるなど徹底した感染対策がとられた。座席は左右に2席、縦に1列の空席を設け、収容人数を350人程度に抑えての公演。手放しの喜びには程遠いが、今はただオーケストラとホールと聴衆がこれだけの配慮を重ねて「音楽を取り戻した」ことを心にとどめておきたい。安全の根拠を積み重ねていくことでしか、コンサートを前に進めることはできないのだ。

冒頭には望月正樹楽団長からの謝辞と、新型コロナの犠牲となった方々、そして今も厳しい環境で働く医療従事者へ向けてG線上のアリアの献奏が置かれた。その響きもまたセンチュリーらしい美しさに溢れたものだった。

（文　逢坂聖也）

ザ・シンフォニーホール 再始動！

公演レポート

日本センチュリー交響楽団
ハイドンマラソンHM.19 ロンドンセットの魅力
2020.6/20（土）

全国で1番早い、フルオーケストラ公演再開！

ザ・シンフォニーホールは、政府発出のガイドラインを順守した新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで、6月20日に公演を行いました。
イベント開催自粛後、全国で初のフルオーケストラのコンサートとなった日本センチュリー交響楽団による公演をレポートします。

演奏を終えて——

公演自粛を越えて名演を披露した楽団メンバーからのメッセージ

[チェロ・首席奏者]北口大輔

数ヶ月ぶりのザ・シンフォニーホールでの演奏はまさに「幸せ」そのものでした。自粛期間中はずっと自宅での練習でしたが、やはりザ・シンフォニーホールで鳴らすサウンドは別格でした。そして何より、お客様のあたたかい拍手に360度包まれる感覚は何事にも代えられません。これから徐々にではありますが、この空間を皆さまと共有出来るのを楽しみにしております。

[ホルン]三村総撤

自粛期間は、インターネットを通してお客様に楽しんで頂けるコンテンツ制作に励んでいました。慣れ親しんだザ・シンフォニーホールでの公演再開は、仲間と共に音楽を奏でる喜びもひとしおです。楽団はホールと協力し、万全の感染症対策を講じております。配置は変わっても変わらないセンチュリーの音楽を今後もお楽しみください。

[ヴァイオリン]巖埼友美

演奏家の存在意義が揺らぎ、葛藤した日々。音楽の灯を消さないようにと、個人練習はもちろんリモートアンサンブル等も沢山やりました。しかし意識が内にばかり向かうせいか、良い響きって何だっけ?と迷うことも多く。約3ヶ月ぶりにホールのステージに立ち、お客様の拍手を聞いた時は、涙が出そうになりました。お客様が待って下さっていたということが只々嬉しく、改めて、演奏は観客がいてこそ完成するものだと感じました。ザ・シンフォニーホールの響きの中で弾くと、やはり音が溶け合って身体に浸透していく感覚があります。それが懐かしくもあり、新鮮でもありました。

[オーボエ・首席奏者]宮本克江

自粛始めは公演中止が続き不安でしたが、途中からはこの時間を楽しめるように考えを変えて、リードを削ったり家族との食事や散歩などゆったりと過ごしました。約3ヶ月ぶりの公演は、ザ・シンフォニーホールの響きの中に戻って来た安心感とお客様の拍手の大きさに感動しました。こんな状況の今だからこそ、心の支えになる音楽を届けて行きたいと思います。

発売中

ハイドンマラソンHM.20
「エステルハージ家のハイドン1（働き盛りのハイドン）」
[ファゴット]安井悠陽

ハイドン:交響曲 第33番 ハ長調／ジョリヴェ:ファゴット協奏曲／ハイドン:交響曲 第36番 変ホ長調／ハイドン:交響曲 第48番 ハ長調「マリア・テレージア」

2020.8/7（金）7:00PM

発売中

ハイドンマラソンHM.21
「エステルハージ家のハイドン2（同時期の弟の作品とともに）」
[トロンボーン]ファブリス・ミリシェー

ハイドン:交響曲 第40番 ヘ長調／M.ハイドン:アルトトロンボーン協奏曲 ニ長調／ハイドン:交響曲 第34番 ニ短調／ハイドン:交響曲 第72番 ニ長調

2020.10/23（金）7:00PM

ハイドンマラソンHM.22
「ハイドンセットの時代からパリ交響曲へ（1782~1785）」

ハイドン:歌劇「薬剤師」より 序曲／ハイドン:交響曲 第75番 ニ長調／ハイドン:交響曲 第79番 ヘ長調／ハイドン:交響曲 第83番 ト短調「めんどり」

2021.2/19（金）7:00PM
一般発売:9/23（水）

[指揮]飯森範親
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

各公演
A 5,000円　B 4,000円（税込）
[お問合せ]
センチュリー・チケットサービス
06-6848-3311
[主催]
公益財団法人日本センチュリー交響楽団
／ザ・シンフォニーホール

検温、消毒、ソーシャルディスタンス等 お客様に多くのご協力を得て——

普段は配布しているチラシも設置台からとってもらうことに。チケットもスタッフが目視で確認した後、お客様ご自身でもぎって頂きました

この日は来場者全員に検温にご協力頂きました

エレベーターにも"ソーシャルディスタンス"マーク

足元に立ち位置を示すラインを引き、ソーシャルディスタンスを確保しながらの入場

飛沫感染防止のため、受付各所にアクリル板を設置

こまめに消毒できるよう、アルコール消毒液を増設

使用しない客席には貼り紙をし、密を防ぎました

終演時には温かく大きな拍手が鳴り止みませんでした

3ヶ月と20日ぶりに再開したコンサートを安心して楽しんでいただくために

The Symphony Hall Quality

お客様に安心してご来場頂くための、新しいザ・シンフォニーホール基準

ザ・シンフォニーホールは日本初のクラシック音楽専用ホールとして
世界中から集まる素晴らしい音楽家の演奏を、残響2秒の音響空間の中で更に美しくブレンドし、
クラシック音楽ファンの皆様にお届けしてまいり、間もなく40年を迎えます。
新型コロナウイルス感染症という未曽有の危機を乗り越え、
ザ・シンフォニーホールでの音楽体験のクオリティはそのままに、
演奏家の皆様、ファンの皆様にこれからも安心して
素晴らしい音楽を楽しんで頂くための体制を整えてまいります。

お客様へのお願い

ご来場のお客様に安心してコンサートを楽しんで頂けるよう、
新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、下記の内容にご協力をお願い致します。

マスク着用のお願い

館内では常時マスクの着用、
咳エチケットの徹底をお願い致します

体温測定

サーモグラフィーや検温器により
37.5℃以上の発熱がある方は
ご入場をお断り致します

チケットの確認

スタッフが目視で確認した後
お客様自身でもぎり
BOXへお入れ下さい

体調確認のお願い

体調が優れない場合は
くれぐれも無理をせず
スタッフにお声がけ下さい

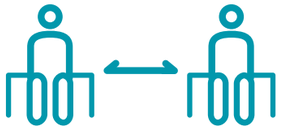
手洗い・手指の消毒

こまめな手洗い、
手指の消毒をお願い致します

館内はお静かに

大きな声での声援や
館内での会話はお控え下さい

ご自席でのご鑑賞



客席内のソーシャルディスタンス
確保のため、お座席のご移動は
固くお断り致します

一部サービスの休止

クロークやウォーターサーバーなど
一部サービスおよび設備のご利用を
制限させて頂く場合がございます

来場記録シート

当日券をご購入のお客様や
ご購入者様とご来場者様が
異なる場合はご記入下さい

ありとあらゆる菌・ウイルスを除菌する『エアバスター』

ザ・シンフォニーホールは、館内にオゾン除菌脱臭器『エアバスター』を設置し、空気清浄、ウイルスの除去を行います。この『エアバスター』は、浮遊しているウイルスだけではなく、座席などに付着したウイルスもオゾンの強力な酸化作用で除菌するという特徴があり、最高レベルの安全性が求められる救急車両内にもエアバスターと同型機が搭載されています。

この度、日本の医科大学、企業による研究グループにより、このオゾンの作用が新型コロナウイルスを不活化することが世界で初めて確認されました。

アルコールによる消毒や館内全体の換気に加え、『エアバスター』の導入で感染のリスクを低減させ、お客様ならびに主催者、出演者の皆様にとって安心して過ごせる環境づくりを行ってまいります。

安心・安全の取り組み

ザ・シンフォニーホールでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、
以下の取り組みを行います。

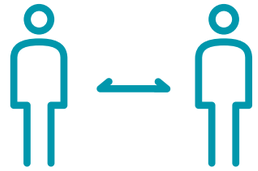
スタッフのマスク着用

勤務中はマスク着用に加え
フェイスシールド、
手袋を使用し対応させて頂きます

館内・お座席の消毒

お座席は公演毎に、館内すべての
お手が触れる箇所においては
こまめに消毒を行います

ソーシャルディスタンス



お客様同士の距離を確保する
表示やご案内を行います

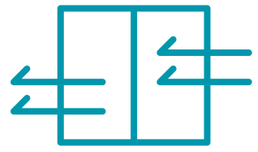
消毒液の増設

館内各所に手指消毒液を
設置しておりますので
こまめにご利用ください

エアバスターの導入

オゾン除菌脱臭器エアバスターを
使用し、館内全ての空気清浄を
行います

館内・客席の換気



客席内は換気システムにより
10分毎に、館内はドアや窓の開放に
より定期的に換気致します

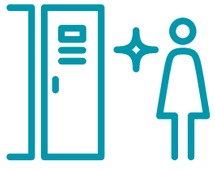
会計時の接触防止

キャッシュレス決済の推奨および
キャッシュトレイの活用により
接触防止の工夫を行います

健康管理の強化

スタッフや出演者の健康管理を
これまで以上に厳しく
チェック致します

バックヤードの衛生管理



館内のバックヤードは
定期的な換気、消毒により徹底した
衛生管理を行います

指揮：飯森範親

The Symphony Hall
プレミアムコンサート Vol.4

マーラー第5番
―日本の日の出を願う―

日本センチュリー交響楽団

2021年のザ・シンフォニーホール
スペシャルコンサートを飾るのは、
マーラーの交響曲の中でも人気の高い、第5番。
指揮 飯森範親と日本センチュリー交響楽団による、
心に迫る演奏で、晴れやかな幕開けを祝う。

新たな年の出発とともに暗闇からの夜明けを祈る

いま、社会全体の活動が大きく制約されるなかで、アーティストをはじめとした音楽にたずさわる人々も、さまざまな形で音楽を発信し続けてきた。そして、音楽のともしびを絶やすことなく、コンサート再開への方法を模索している。

来年早々に行なわれるザ・シンフォニーホールのプレミアムコンサートのタイトルは、「日本の日の出を願う」。新たな年の出発とともに、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルスという暗闇からの夜明けを祈る。

とりわけ、プログラム後半のマーラー《交響曲 第5番》には、その祈りが込められている。

マーラーにとって、交響曲の創作は〝生きることの証〟

マーラーは、ウィーンで学んだのち、指揮活動とともに作曲も行なっていた。ウィーン宮廷歌劇場やウィーン・フィルハーモニーの指揮者となるものの、1901年にウィーン・フィルの指揮者を辞任。《交響曲 第5番》はその頃の創作である。翌年にはアルマと結婚、その後にこの曲は完成をみた。

グスタフ・マーラー（1860–1911）

マーラーの番号のついた交響曲には、完成された9曲と未完の1曲がある。第5番は、彼の充実した時期の創作だ。彼にとって交響曲の創作は、生きることの証であったと言える。「暗から明へ」向かう構図には、ベートーヴェンの《交響曲 第5番「運命」》の悲痛な第1楽章に始まり、フィナーレの輝かしい凱歌で結ばれるような、夜明けの尊さを感じずにはいられない。指揮の飯森範親は、これまでにも第5番のレコーディングを行なうなど、この作品を熟知している。スケールの大きなオーケストラ編成であるとともに、複雑で重く濃厚な響きのなかから、さまざまな音の綾を細やかに引き出してくれるに違いない。

魂の安らぎを希求するかのような楽想

5つの楽章からなるこの交響曲のなかでも、ひときわ異彩を放っているのが、第4楽章のアダージェット。ヴィスコンティの映画「ベニスに死す」にも用いられたその音楽は、耽美的な雰囲気を湛えている。あたかも、魂の安らぎを希求するかのような楽想を、日本センチュリー交響楽団の弦楽器群はこの上なく美しく歌い上げてくれるであろう。

そして、リストの《ピアノ協奏曲 第1番》。ヴィルトゥオーソ・ピアニストとして国際的な演奏活動をしていたリストは、1848年にヴァイマルの宮廷楽長に就任。この協奏曲は、彼が若い頃から何度も創作の手が加えられ、完成したのはヴァイマル時代の1856年である。当時のピアノ協奏曲としては珍しく4楽章構成で作曲され、トライアングルを積極的に取り入れ、評論家ハンスリックから「トライアングル協奏曲」と揶揄（やゆ）されるなど、さまざまに注目を集めた。なによりも、リストの超絶技巧的なメカニックが遺憾なく発揮されたピアノ協奏曲だ。

協奏曲での絶妙なコンビネーションも聴きどころ

共演するのは、「3大協奏曲」シリーズなど、ザ・シンフォニーホールではおなじみの関本昌平。ショパン国際コンクール入賞者としても知られる彼は、フランスとアメリカで研鑽を積み、多くのキャリアを重ねてきた。鋭い洞察力とともに揺るぎない音楽の構築力をもったピアニストだ。彼の十八番と言えるリストのこの協奏曲では、共演を重ねてきた飯森範親とこのオーケストラとの絶妙なコンビネーションも、聴きどころである。

ピアノ：関本昌平

また、プログラムの冒頭を飾る《ハンガリー狂詩曲 第2番》（オーケストラ版）も、新春の華やかな舞台に彩りを添える。

壮麗でヴァイタリティあふれるこのプログラムは、新しい年の出発を祝うにふさわしい。そして、コロナ禍によって停止を余儀なくされた世界の音楽活動が再び息を吹き返し、豊かな音楽の世界が到来することへの強いメッセージを託している。

（文　道下京子）

飯森範親は、この作品を熟知している。
複雑で重く濃厚な響きのなかから、さまざまな音の綾を
細やかに引き出してくれるに違いない。

[指揮]飯森範親
[ピアノ]関本昌平
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

リスト：ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 〈オーケストラ版〉
リスト：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調
マーラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調

2021.1/16（土） 2:00PM
S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円（税込）
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
先行予約：7/23（木・祝）　一般発売：7/26（日）

ダニール・トリフォノフ ピアノ・リサイタル

©Dario Acosta

チャイコフスキー国際コンクール覇者が魅せる高度なテクニックに期待！

発売中

[ピアノ]**ダニール・トリフォノフ**

J.S.バッハ(ブラームス編):シャコンヌ BWV1004
J.S.バッハ:フーガの技法 BWV1080(全曲)
J.S.バッハ(M.ヘス編):コラール「主よ、人の望みの喜びよ」BWV147

2020.10/10(土) 2:00PM
S 8,000円　A 6,000円　B 4,000円(税込)
[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960
[主催]KAJIMOTO

2011年にチャイコフスキー国際コンクールを制して以来、活躍めざましいダニール・トリフォノフのリサイタルが、10月10日に開催される。あのアルゲリッチも絶賛している若き巨匠(1991年生まれ)だが、レパートリーは膨大で、作曲家としてピアノ協奏曲も発表する多才ぶり。彼の魅力は高度なテクニックに加えて、変幻自在な表現力だ。

様々なピアノ曲のスタイルを華麗に描きわけ、手を替え、品を替え、楽しませてくれるエンターテイナーでもある。ザ・シンフォニーホールでのプログラムはオール・バッハ。ブラームスによる左手編曲の「シャコンヌ」では豊穣な響きを、「フーガの技法」では緻密な造形美を、そして「主よ、人の望みの喜びよ」(ヘス編)では、敬虔なプロテスタント信徒としてのバッハの姿を表現してくれるだろう。トリフォノフの名演を通じて、バッハの多面的な世界を堪能できる日が待ち遠しい。

(文　伊藤制子)

アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル

©Jean Baptiste Millot

フランスを熱狂させる多彩な音と圧倒的な表現力

発売中

[ピアノ]**アレクサンドル・カントロフ**

ブラームス:4つのバラード op.10／ストラヴィンスキー:(G.アゴスティ編)バレエ「火の鳥」組曲／フォーレ:ノクチュルヌ第6番 変ニ長調 op.63／ブラームス:ピアノ・ソナタ第3番 ヘ短調 op.5

2020.11/17(火) 7:00PM
S 6,000円　A 5,000円　B 4,000円
プラチナ 11,000円(税込)
[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960
[主催]KAJIMOTO

昨年のチャイコフスキー国際コンクールの覇者、アレクサンドル・カントロフが、ザ・シンフォニーホールでソロ・リサイタルを開催する。早くから「若きスター」と呼ばれ、将来を嘱望されてきた彼は、10代半ばからヨーロッパの主要舞台に登場し、アルバム「サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第3・4・5番」ではディアパゾン・ドールなどを受賞。父はヴァイオリンの名匠ジャン＝ジャック・カントロフで、父の指揮で共演したこともある。

カントロフの選曲したプログラムは、20代初めの青年ブラームスの傑作《ピアノ・ソナタ 第3番》&《4つのバラード》、和音の繊細なうつろいとともに歌心に満ちたフォーレ《ノクチュルヌ 第6番》、そして大胆な色彩と脈打つ躍動のストラヴィンスキー《組曲「火の鳥」》。23歳とは思えぬ楽譜の深い読み！　音楽でこれほど思想を語ることのできるピアニストは稀である。才気あふれるカントロフの豊饒な音世界をはやく聴いてみたい。

(文　道下京子)

Charles Richard Hamelin

シャルル・リシャール＝アムラン オール・ショパンプログラム「雨だれ」

©Elizabeth Delage

ショパン国際コンクールから5年、深化を遂げた演奏で幸福感に包まれる

©Higashi Akitoshi

国際コンクールは幾多のスター誕生の場である。前評判通りに順当に輝きを放つ者もいれば、予選、本選と進むにつれ、審査員や聴衆の評価を高めてゆき、コンクールを通じて、めざましい成長をとげる者もいる。2015年開催のショパン国際コンクールで2位になったカナダ出身のシャルル・リシャール＝アムラン。彼はコンクールによってまさに見いだされたスターといえるのではないだろうか。国際コンクールに挑戦したのは2014年からというアムランの演奏は、高い技術に裏打ちされており、ショパン時代の息吹を再現するような自在な息遣いと繊細かつのびやかな響きをもつ。さらに特筆すべきは、聴衆を包み込んで幸せな気分にさせてくれる、希有の資質をもっていることだろう。コンクール中に彼の評価はぐんぐんあがり、2位とソナタ賞受賞という好成績を得たばかりではなく、以後世界中のピアノファンから熱いラブコールを受ける存在になった。ザ・シンフォニーホールでは、2016年と2018年にソロリサイタルを開催したが、いずれも完売という人気ぶり。すでに関西のピアノファンから圧倒的な支持を受けているのである。聞き手に音楽の喜びを伝えてくれるアムランが、9月19日に再びザ・シンフォニーホールに登場し、ファンの期待に応えてくれる。

リサイタルは、アムランの十八番で、すでに評価の高いオール・ショパンプログラム。中でもメインとなるのは「24の前奏曲」である。各曲は1分ほどから5分ほどと短いもので、ショパンならではの凝縮されたミクロコスモスがそれぞれの曲に詰まっている。個々の作風は、ノクターン風、マズルカ風、さらには繊細な中に荒ぶる情熱などさまざまだが、中でも大きな聞き所が、第15番「雨だれ」だろう。命名はショパン自身ではないものの、リリカルな情感が美しい一曲である。同音がまるで雨粒のように何度も奏でられ、しっとりとした情景を彷彿とさせる。「24の前奏曲」はアムランがコンクール以後に力を入れるようになったレパートリーということで、本当に楽しみである。

プログラムには、まばゆい技巧と歌心で人気の「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ」、そしてすでに録音でも高い評価を受けている「ピアノ・ソナタ 第3番」という名作も加わっている。ショパンの音楽には彼の故国ポーランドの苦難の歴史が見え隠れしている。世界がさまざまな困難に向き合っている今、アムランの奏でるショパンは、まさに人類の希望の光のように響いてくれるにちがいない。

(文　伊藤制子)

[ピアノ]**シャルル・リシャール＝アムラン**

ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22／ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op.58／24のプレリュード op.28

2020.9/19(土) 7:00PM
全席指定 4,400円(税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

“讃”平和を讃えて
広島交響楽団
第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

オピッツ、下野、広響の対話で織りなす
ベートーヴェンの最高峰！

名曲を名手が銘器で聴かせる“三位一体”の「皇帝」

ドイツ・ピアニズムの伝統を継承し、〝いぶし銀〟にも例えられるプレーで聴衆を魅了し続けているピアノの名匠、ゲルハルト・オピッツが、3年ぶりとなる広島交響楽団の大阪公演「〝讃〟平和を讃えて」へソリストとして登場。気鋭の指揮者、下野竜也と共演し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲 第5番「皇帝」を弾く。生誕250年のメモリアル・イヤーに体感する、〝名手の名演で聴く名曲〟。きっと忘れられない体験となるはずだ。

ドイツ南部・バイエルン州フラウエナウ出身のオピッツ。弱冠11歳でデビューを果たし、20世紀を代表する名ピアニスト、ヴィルヘルム・ケンプに師事。24歳でルービンシュタイン国際ピアノ・コンクールを制し、28歳の時には最年少でミュンヘン音楽大学の教授に。国際的に活躍し、1994年にはNHKのテレビ番組「趣味百科・ベートーヴェンを弾く」に登場し、その名技の奥義を開陳。来日公演も数多く重ねてきた親日家で、我が国では特に高い人気を得ている。

今回披露するのは、楽聖が38歳の時に作曲し、数あるピアノ協奏曲の中でも、最高峰に位置付けられる傑作「皇帝」。この作品について、「ピアノ協奏曲と交響曲のアイデアを、理想的に組み合わせた作品。ソリストとオーケストラ、指揮者の間で成される対話は、いわば作用と反作用の関係にある」とオピッツは評する。実は、ザ・シンフォニーホールのスタインウェイ・ピアノは、彼自身が2018年に選定した楽器だけに、相性もぴったり。名技と銘器、名曲が〝三位一体〟となった快演が、お約束できよう。

そして、被爆から75年となる今年、特に「〝讃〟平和を讃えて」とのタイトルを掲げ、定期演奏会を続けている広島交響楽団。大阪公演では、ブルックナーの交響曲の中でも、特に人気の高い第4番「ロマンティック」を併せて披露する。第1楽章冒頭、弦のさざめきの彼方から現れるホルンに象徴される、自然への畏敬や憧れといった、荘厳で奥深い感覚。中世の昔から、ドイツ・オーストリアの人々が共通して抱く思いを込めた佳品は、コロナウイルス禍に疲れた心を癒してくれることだろう。

（文　笹田和人）

発売中

[指揮]下野竜也
[ピアノ]ゲルハルト・オピッツ
[管弦楽]広島交響楽団

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」（ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ）／ブルックナー：交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンティック」（ハース版）

2020.11/15（日） 2:00PM
全席指定 5,500円（税込）
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]公益社団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール

皆様の明日への活力に繋がる音楽を奏でる

ロマン派の扉を開き、また経済的に最初に自立した作曲家とし、音楽界に多くの革新をもたらした〝楽聖〟ベートーヴェン。2020年は彼の生誕250周年にあたり、ザ・シンフォニーホールでは、今年8月から来年2月にかけて全3回に渡る注目の大型シリーズ、ベスト・オブ・ベートーヴェンをスタートする！ 作曲者の創意が最も充実していた中期〝傑作の森〟時代の傑作交響曲&協奏曲をお贈りする予定で、コアファンも入門者も等しく楽しめる構成が聴きどころだ。

演奏は、毎回気鋭に満ちた演奏でファンを魅了する指揮者 飯森範親と日本センチュリー交響楽団の名コンビ。ソリストは、横山幸雄（p）、竹澤恭子（vn）、関本昌平（p）、郷古 廉（vn）、横坂 源（vc）という世界的名手が各回に登場するが、今回は第2回にヴァイオリン協奏曲を披露する竹澤からコメントが届けられた。

まずは、メンデルスゾーンやブラームスと並ぶ3大ヴァイオリン協奏曲のひとつに数えられる本作の魅力を尋ねると――

「これほどまでに高貴な気品と品格さを感じさせる作品はないと思います。ひとたび音楽が始まったら、真っ直ぐな一本の筋が最後まで突き抜ける感覚です。厳格な第1楽章の後には、すべての邪念から解き放たれて臨む天との対話のような第2楽章が続き、最後は生の喜びを感じるように軽快な第3楽章で締め括られます」

飯森は大学の先輩にあたり、日本センチュリー響とも過去にバーバーの協奏曲で共演するなど、彼らとかねてから縁の深い竹澤。また、大阪の音楽ファンにも、「クラシック音楽を熱烈に愛している情熱を感じておりますので、毎回お会いできるのが非常に楽しみです」との感謝の弁と好印象を寄せる。

そんな彼女は、今回の公演に向けた抱負を次のように力強く語ってくれた。

「実は今回の公演は、コロナウイルスの影響で演奏活動が休止状態になってから初のライヴになります。演奏の場が閉ざされてから最初のうちは悶々とした日々を送っておりましたが、改めて自分と皆様にとっての音楽とは何かと考える中で、命の尊さと、演奏できることへの感謝や幸せを感じるようになりました。今回はそんな気持ちを噛みしめながら、聴いてくださる皆様の明日への活力に繋がる音楽を奏でることができたらと思っております。まだまだ大変な状況の中ではありますが、長期に渡る自粛生活の中、私ども音楽家は音楽への情熱を沸々と燃やし続けており、今回の公演が実現することを心から楽しみにしております。ベートーヴェンの音楽に流れる生命力の強さを皆様と会場で分かち合いましょう‼」

（文　渡辺謙太郎）

BB Vol.1「皇帝」　発売中
[ピアノ]横山幸雄
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」op.73／交響曲 第7番 イ長調 op.92
2020.8/9(日) 2:00PM

BB Vol.2「英雄」　発売中
[ヴァイオリン]竹澤恭子
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61／交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」 op.55
2020.9/8(火) 7:00PM

BB Vol.3「運命」　先行予約:9/24(木) 一般発売:9/27(日)
[ピアノ]関本昌平
[ヴァイオリン]郷古 廉　[チェロ]横坂 源
ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲 ハ長調 op.56／交響曲 第5番 ハ短調「運命」 op.67
2021.2/21(日) 2:00PM

[指揮]飯森範親
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団
[各日]S 6,600円　A 5,500円　B 4,400円（税込）
[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311
[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団／ザ・シンフォニーホール

これを聴けばアヴェ·マリア通！
優美でお洒落な名歌の数々

聖母マリアに祈りを捧げるカトリック教会音楽として生まれ、「こんにちはマリア様」や「おめでとうマリア様」を意味するアヴェ·マリア。今では歌を持たない器楽曲まで含む実に多種多様な形が存在するが、今年のクリスマス直前の土曜夜、そんな膨大な作品にクリスマス音楽も加えた中から、バロックから現代までをカバーした傑作を精選してお贈りするのが当公演だ！

予定演目に並ぶのは、バッハの有名な鍵盤作品にグノーが名旋律をかぶせて完成したアヴェ·マリア。プラナタスの木陰への愛を歌ったヘンデルのオペラ·アリア「オンブラ·マイ·フ」。静謐な名旋律と絶妙な転調を備えたモーツァルトの「アヴェ·ヴェルム·コルプス」。かつてはイタリア·バロックの作曲家カッチーニの作とされてきたが、近年は20世紀ソビエトのヴァヴィロフによって書かれたことが明らかになった流麗なアヴェ·マリアなど。

他にも、フランク、サン＝サーンス、ビゼー、フォーレら19世紀フランスの作曲家による優美でお洒落な名歌の数々。プッチーニ&ヴェルディのイタリア·オペラより「私の名はミミ」&「オテロ」のアヴェ·マリアや、「ピノキオ」より「星に願いを」、「白雪姫」より「いつか王子様が」というあまりにも名高い映画音楽。

そして、クリスマスソングの定番「ホワイト·クリスマス」と「きよしこの夜」まで。

このようにアヴェ·マリアだけで9曲、さらにクリスマス関連の名曲もバランスよく選ばれており、聴き手は一夜にしてアヴェ·マリア博士になれる充実のラインアップになっているのが嬉しい。

そして当公演の歌い手を務めるのが、日本を代表するソプラノ歌手の一人で、藤原歌劇団の名プリマ·ドンナとしてもおなじみの砂川涼子。ザ·シンフォニーホールでのリサイタルは今回が初となる彼女は、2000年に日本音楽コンクールを制し、本場イタリアへ留学も経験。かねてからイタリアやフランスの歌を得意としてきたが、近年はドイツ·オペラなどでも活躍する本格派なので、今回の多彩な演目にこの上なくふさわしい人選と言えるだろう。デビュー当時から変わらない持ち前の初々しく爽やかな美声が、当ホールが誇る音響とどのようなマリアージュを聴かせてくれるか実に楽しみだ!!

（文　渡辺謙太郎）

©Yoshinobu Fukaya

[ソプラノ]**砂川涼子**
[ピアノ]**河原忠之**

カッチーニ:**アヴェ·マリア**／モーツァルト:**アヴェ·マリア、主をほめたたえよ「証聖者の荘厳な晩課 KV339」より、アヴェ·ヴェルム·コルプス**／トスティ:**アヴェ·マリア**／バッハ=グノー:**アヴェ·マリア**／フォーレ:**アヴェ·マリア、ピエ·イエス「レクイエム」より**／ブライズマン:**アヴェ·マリア**／ビゼー:**アヴェ·マリア**／サン=サーンス:**アヴェ·マリア**／アルカデルト:**アヴェ·マリア**／フランク:**天使のパン**／ヘンデル:**オンブラ·マイ·フ「セルセ」より、シオンの娘よ 大いに喜べ「メサイア」より**／プッチーニ:**私の名はミミ「ラ·ボエーム」より**／ヴェルディ:**アヴェ·マリア「オテロ」より**／**さやかに星はきらめき**／**ホワイト·クリスマス**／**きよしこの夜**／**星に願いを「ピノキオ」より**／**いつか王子様が「白雪姫」より**

2020.12/19（土）7:00PM
全席指定 4,400円（税込）
[お問合せ]**ザ·シンフォニー チケットセンター**
06-6453-2333
[主催]**ザ·シンフォニーホール**

先行予約:**7/23（木·祝）**　一般発売:**7/26（日）**

ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート2020

今年は昼と夜、2回公演が実現! ダイナミックな音色で紡ぐ聖夜の贈り物

オルガン:冨田一樹

巨大な楽器の中にいるような幻想的な体験ができる

聖夜に味わうのに、最も相応しいサウンドこそ、温かくてダイナミックなパイプオルガンの調べだろう。毎年完売を続けているザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「クリスマス オルガンコンサート」。今年はライプツィヒ・バッハ国際コンクールの覇者、冨田一樹が登場し、3人の作曲家による「アヴェ・マリア」やバッハの傑作など、〝オルガンの愉しみ〟という音のクリスマス・プレゼントを届けてくれる。ぜひ、大切な人と一緒に、受け取ってほしい。

ザ・シンフォニーホールのパイプオルガンは、1982年の開館時から、ステージの正面に設置。スイス北東部メンネドルフにあるオルガン工房「クーン社」が製作した、3732本のパイプ、3段の手鍵盤と足鍵盤を備えた特に大型の楽器。そのダイナミックなサウンドを〝残響2秒〟のホール内で聴く体験は格別だ。中には、「まるで巨大な楽器の中にいるような、幻想的で不思議な体験ができる」との感想を漏らす聴衆も。ザ・シンフォニーホールにとっては、ロゴマークのデザインにも使用するなど、〝象徴〟とも言える存在だ。

そして、毎年、気鋭のオルガニストたちが登場し、それぞれの感性で選りすぐった、聖夜に相応しい名曲を披露してきた『クリスマス オルガンコンサート』。「友達に誘われて初めて来てみたら、すっかりハマってしまった」というクラシック初心者から、「冬はやっぱりオルガン」というマニアまで、幅広い層から支持を得ている。

今回登場する冨田は、大阪府摂津市出身。大阪音楽大学からドイツ・リューベック音楽大学に学び、2016年にドイツ・ライプツィヒで開かれたバッハ国際コンクールのオルガン部門で優勝を果たし、話題をさらった。現在は関西を拠点に活躍し、『真夏のオルガンコンサート』へ出演するなど、ザ・シンフォニーホールでも〝常連〟。『クリスマス オルガンコンサート』では、初登場となった2017年には即完売に。急きょ追加公演の開催となった。

ステージは、冨田が得意とする、バッハの作品が軸に。「G線上のアリア」など誰もが知る名旋律から、20代前半の若き日に書いた「ピエスドルグ(フランス語で「オルガン曲」)」、コラール(讃美歌)に基づく「我が魂は主をあがめ」、60歳頃の円熟期に作曲された傑作「前奏曲とフーガ ハ長調」まで、その創作のエッセンスを披露する。

そして、カッチーニやグノー、シューベルトと三者三様の美しさを湛えた「アヴェ・マリア」を。さらに、厳かな雰囲気に包まれたボエルマン「ゴシック組曲」から第3曲「ノートルダムへの祈り」輝かしい喜びに満ちたクラーク「トランペット・ヴォランタリー」など、多彩な調べを織り込んでゆく。

(文　笹田和人)

[オルガン]**冨田一樹**

J.S.バッハ:**ピエスドルグ ト長調 BWV572**／ボエルマン:**ノートルダムへの祈り**／J.クラーク:**トランペット・ヴォランタリー**／カッチーニ:**アヴェ・マリア**／バッハ=グノー:**アヴェ・マリア**／シューベルト:**アヴェ・マリア**／J.S.バッハ:**我が魂は主をあがめ BWV733**／J.S.バッハ:**G線上のアリア BWV1068-2**／J.S.バッハ:**前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547**

2020.12/5(土) 2:00PM / 7:00PM

※各回休憩なし。約60分間のコンサートです。

[各回]全席指定 2,200円 (税込)

[お問合せ]**ザ・シンフォニー チケットセンター** 06-6453-2333

[主催]**ザ・シンフォニーホール**

先行予約:**7/23(木・祝)**　一般発売:**7/26(日)**

東京佼成ウインドオーケストラ

第５回大阪定期演奏会

©Atsushi Yokota

ＴＫＷＯの歴史的名曲＆６０周年記念「交響曲第３番」初演を披露！

ＴＫＷＯの歴史と今を知る吹奏楽ファン必聴の演奏!!

指揮：大井剛史

©K. Miura

早いもので、今回で5回目の開催。日本最高峰の吹奏楽団のひとつ、東京佼成ウインドオーケストラ（以下ＴＫＷＯ）が、今年も芸術の秋にザ・シンフォニーホールで公演を行う。１９６０年に始動したＴＫＷＯは、今年が60周年のアニバーサリー。持ち前の美しい音色と圧倒的なアンサンブル能力に加え、意外にも関西出身の楽団員が多いこともあって、秋のザ・シンフォニーホールの風物詩として着実に人気を高めていることは周知の通りだ。

過去４回の公演では、藤岡幸夫、飯森範親、カーチュン・ウォン、ユベール・スダーンという錚々たる名指揮者を客演に迎えてきたが、今回は２０１４年からＴＫＷＯの正指揮者を務める大井剛史が登場。作曲者の意図の忠実な再現に徹底的にこだわる彼は、ＴＫＷＯと共に、長期的な視野で明確に見定めた高みへと着実に駆け上がり続けている。このコンビの真の姿と今を知る上で、今回の公演は最良の機会と言えるだろう。

そんな注目公演の演目に選ばれたのは、組曲「惑星」の作曲者としておなじみのイギリス人作曲家ホルストによる「吹奏楽のための第一組曲」。ＴＫＷＯ桂冠指揮者のフレデリック・フェネルが繰り返し取り上げることでクラシックの名曲と同格の地位を得た経緯がある。約30年前に当時高校２年生の吹奏楽部員だった大井も彼らの実演に接して感動した思い出の作品だという。「もしバンド音楽の本当の指揮者になりたいならば、このスコアを徹底的に勉強して、この曲と生活し、あらゆる方法を通して身につけるべきであろう」とはフェネルの本作評だが、対位法や変奏といった音楽の基本に大井＆ＴＫＷＯがどのような自分たちの色を出していくかに期待が高まる。

他にも、オーストラリア出身の作曲家＆ピアニスト、グレインジャーが変拍子や装飾音を駆使して書き上げた意欲作「リンカンシャーの花束」。15年に起きたフランス・パリ同時多発テロ事件の犠牲者に捧げられた芳賀傑「水面に映るグラデーションの空」（水面に落ちた涙が、境目のない空と水面のようにいつか世界をひとつのグラデーションで繋げることを信じて作曲）など、聴きどころが満載の当公演。

だが、今回何と言っても楽しみなのは、当公演のために保科 洋が書き下ろす、吹奏楽のための交響曲 第3番。今年で84歳になった巨匠作曲家は、今もなお創作意欲が旺盛で、４年前の80歳記念に発表した交響曲第２番の初演が大成功を収めたことも記憶に新しい。前作でも全開だった勇壮で推進力のある〝保科節〟がいかなる深みと威容をもって現れるか、吹奏楽のコアファンはもちろん、あらゆる聴き手にとって必聴の演奏と言えるだろう!!

（文　渡辺謙太郎）

発売中

[指揮]**大井剛史**
[吹奏楽]**東京佼成ウインドオーケストラ**

G.ホルスト：**吹奏楽のための第一組曲**／芳賀 傑：**水面に映るグラデーションの空**／P.グレインジャー（F.フェネル 校訂）：**リンカンシャーの花束**／保科 洋：**吹奏楽のための交響曲 第3番（TKWO委嘱新作）**

2020.11/8（日）3:00PM
S 5,000円　A 4,000円　B 3,000円（税込）
[お問合せ]東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155
[主催]佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ
ザ・シンフォニーホール

岡 幸二郎
ベスト･オブ･ミュージカル･コンサート in OSAKA

甘美なる世界へ！
ミュージカル・スターとオーケストラ
夢の共演！！

クラシック音楽の殿堂に現れる新しいミュージカルの世界

ミュージカル・ナンバーを聴くと、優しさや勇気という大人になっても消え失せることのない心の〝ピュア〟な部分が掻き立てられる心地になる。クラシック音楽の殿堂・ザ・シンフォニーホールの舞台に、ミュージカル俳優の岡 幸二郎が初めて登場する。竹本泰蔵指揮、日本センチュリー交響楽団の演奏とともに、ミュージカルの名曲の数々を歌い上げる。

身長186センチで立ち姿が美しく、麗しい姿の岡は、甘く透明感のある歌声だ。ひとたび聴くと、舞台に吸い込まれるように魅惑され、いつの間にか虜になってしまう。それはまるで、ミュージカルの舞台を観て、無我夢中で魅入っている時のように……。

福岡県出身で、高校1年生の時に、劇団四季『コーラスライン』を観て刺激を受けて、ミュージカル俳優を目指した。『オペラ座の怪人』のラウル役など、劇団四季シーズンメンバーとして3年間活躍した後、『レ・ミゼラブル』のカリスマ青年革命家・アンジョルラス役、悪役のジャベール役、『ミス・サイゴン』のジョン役、『ピーターパン』のフック船長役など、ミュージカル界のスターとして活躍してきた。多くの人が彼に魅了される理由の一つは、役作りの考察が深い点にあるだろう。5歳から始めた書道、生け花や作陶、そして蒔絵を中心とした骨董収集など趣味が幅広く、ユーモアに溢れた視点から表現できる天性の才能が、癖のある魅力的な悪役をも作り上げる。

本公演では、2014年のデビュー25周年に制作したアルバム『ベスト・オブ・ミュージカル』の中の収録曲から多数選曲された。『オペラ座の怪人』より「ミュージック・オブ・ザ・ナイト」、『ミス・サイゴン』より「命をあげよう」、『レ・ミゼラブル』より「ブリング・ヒム・ホーム」、『美女と野獣』より「愛せぬならば」など、耳馴染みのある名曲ばかりが並ぶ。まるでミュージカルの舞台を楽しむように、岡の華やかなパフォーマンスとロマンティックな歌声に包まれて、物語の1ページに誘われるだろう。まだミュージカルを観たことがない人にも楽しめるコンサートになりそうだ。今回は、スペシャルゲストとして、劇団四季や多くのミュージカルで活躍し、岡ともコンサートやCD等で共演を重ねる吉岡小鼓音が華を添え、またザ・シンフォニーホールの人気公演『新超絶のオペラ座の怪人』でも演奏するオルガニストの大木麻理が出演する。

豪華なフルオーケストラで、パイプオルガンが鳴り響き、岡の艶やかで圧巻の歌声に包み込まれる、ザ・シンフォニーホールならではの新しいミュージカルの世界。日常から離れて、ロマンティックなひと時を味わってみませんか。

（文　金子真由）

発売中

[出演]岡 幸二郎
[スペシャルゲスト]吉岡小鼓音（女優･歌手）、大木麻理（オルガン）
[指揮]竹本泰蔵　[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

『ジキル&ハイド』より「ア･ニュー･ライフ」「ディス･イズ･ザ･モーメント」／『オペラ座の怪人』より「ミュージック･オブ･ザ･ナイト」／『チェス』より「アンセム」／『ミス･サイゴン』より「ブイ･ドイ」「命をあげよう」／『美女と野獣』より「愛せぬならば」／『レ･ミゼラブル』より「スターズ」「ブリング･ヒム･ホーム」　ほか ※曲目･曲順は変更になる場合がございます。

2020.9/6（日）3:30PM
S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円（税込）
限定プレミアムシート 13,000円（税込）※ザ･シンフォニー チケットセンターのみ取り扱い
[お問合せ]ザ･シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]日本コロムビア株式会社／ザ･シンフォニーホール

煌びやかな光と融合し ダイナミックに進む音楽絵巻

ザ・シンフォニーホールの口ゴマークでもあるスイス・クーン社のパイプオルガンとプロジェクションマッピングが織りなす壮麗な音楽絵巻。チケットが毎回早々に完売してしまうことでもおなじみの大人気企画、パイプオルガン×プロジェクションマッピングの「超絶シリーズ」が今秋に開催される！

来る11月6日の公演では、ファン待望のミュージカル名曲集「オペラ座の怪人」を2年3ヶ月ぶりに再演。しかも今回は、全曲のアレンジを一新した〝新 超絶のオペラ座の怪人〟として行われるので、過去に来場されたお客様も楽しみにしていただきたい。

演奏は、ミューザ川崎シンフォニーホールでオルガニストを務めている大木麻理。第3回ブクステフーデ国際オルガンコンクールで日本人初優勝を飾り、繊細さとダイナミックさを備えている。

プログラムは、『オペラ座の怪人』をはじめ、『レ・ミゼラブル』『キャッツ』『天使にラブ・ソングを』『オズの魔法使い』『LA LA LAND』『美女と野獣』などのミュージカル・映画から、誰もが一度は耳にしたことのあるおなじみの名曲が並ぶ。中でも、煌びやかなプロジェクションと相性抜群の『レ・ミゼラブル』からの「民衆の歌」は感動的で、リピーターからの人気が高い。ザ・シンフォニーホールのオルガンの可能性を活かした音色作りと高い演奏技術で知られる大木が、新たな編曲とどのような新宇宙を描き出すか、要注目だ。

そしてこの公演は休憩なしの約60分間で行われ、4歳以上なら誰でも入場できるのも大きな魅力。音と光の饗宴を、気軽に、全身で、心ゆくまで堪能しよう!!

（文　渡辺謙太郎）

[オルガン]**大木麻理**

ミュージカル『オペラ座の怪人』★／ミュージカル『レ・ミゼラブル』★／ミュージカル『キャッツ』★／映画『天使にラブ・ソングを』／映画『サウンド・オブ・ミュージック』／映画『オズの魔法使い』より「over the rainbow」／映画『LA LA LAND』★／映画『美女と野獣』★　★プロジェクションマッピング付き

2020.11/6（金）7:00PM
※休憩なし。約60分間のコンサートです。
※4歳以上のお子様からご入場可能です。
全席指定 2,750円（税込）
[お問合せ]**ザ・シンフォニー チケットセンター** 06-6453-2333
[主催]**ザ・シンフォニーホール**

発売中

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

超絶のボヘミアン・ラプソディ QUEEN×ABBA

世界で愛される名曲の、真の魅力を知る！

2018年公開の映画「ボヘミアン・ラプソディ」でも話題をさらった英バンドQUEENと、日本でも世代を問わずファンの多いスウェーデンポップグループABBA。
クラシック音楽とも親和性が高いといわれる彼らの楽曲が、オルガンによって重層的に生まれ変わります！

発売中

[オルガン]**大木麻理**

[QUEEN] I WAS BORN TO LOVE YOU★／WE WILL ROCK YOU／DON'T STOP ME NOW／BOHEMIAN RHAPSODY★ [ABBA] MAMMA MIA★／DANCING QUEEN★／VOULEZ VOUS★／LAY ALL YOUR LOVE ON ME　★プロジェクションマッピング付き

2020.9/18（金）7:00PM　全席指定 2,750円（税込）
[お問合せ]**ザ・シンフォニー チケットセンター** 06-6453-2333
[主催]**ザ・シンフォニーホール**
※休憩なし。約60分間のコンサートです
※4歳以上のお子様からご入場可能です。

※5/17（日）2:00PMの振替公演

美しい秋や懐かしい情景に出会える
想い出を旅するコンサート

美しき日本のうた「秋」

誰もが知る名曲を郷愁を誘う情感豊かな歌声で

時代を超えて愛され続ける日本の美しい名曲ばかりを集めた、ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ《美しき日本のうた》。2016年に始まり、4回目を迎える今秋は、日本を代表するソプラノ歌手の幸田浩子が登場する。

大阪府出身で、東京藝術大学大学院を卒業後、文化庁オペラ研修所を経てイタリアで研鑽を積んだ。ローマ歌劇場やベッリーニ大劇場、シュトゥットガルト州立劇場などで主要な役を演じ、ウィーンのフォルクスオーパー歌劇場で専属歌手として活躍。帰国後も、新国立劇場やびわ湖ホール、東京二期会のオペラ公演やリサイタルなどで活躍している。ヴァイオリニストで姉の幸田聡子と、神戸で東日本大震災復興支援のチャリティ・デュオコンサートを開催し、震災で親を亡くした子どもたちに収益金を寄付してきた。

そのチャリティ・デュオコンサートで、幸田が歌う「糸」を初めて聴いた時、一瞬にして頭がしびれ、歌声に込められた想いが全身に響き渡り、しばらく幸せな余韻に浸り続けたことがある。本公演の曲目にも入っているが、中島みゆき作詞・作曲で、人と人との巡り合いから生まれる温かさを、縦と横の糸で表した曲だ。歌には、かつて一緒に口ずさんだ人との会話や懐かしい情景を蘇らせてくれる不思議な力がある。強く透き通るようなオペラの発声で幸田が歌い上げる日本の歌を聴くと、かけがえのない想い出が、明るい〝光〟に照らされているような心地になるのだ。

本公演では、『秋』にまつわる名曲を中心に、幸田の歌声が観客それぞれの想い出に連れていってくれるだろう。プログラムは、童謡・唱歌、そして昭和と平成の大ヒット曲が組み込まれた。サトウハチローが自宅に植えられていたハゼノキの紅葉の情景を見て、インスピレーションを受けて作詞したと言われている「ちいさい秋みつけた」、山田耕筰作曲「赤とんぼ」などの秋を彩る童謡の他に、成田為三作曲「浜辺の歌」、石川啄木の詩に越谷達之助が作曲した「初恋」など郷愁を誘う名曲の数々が歌われる。さらに、坂本九のヒット曲「見上げてごらん夜の星を」までバラエティに富み、世代を超えて歌い継がれてきた日本の歌の数々が披露される。ピアニストは、映画『おくりびと』でピアノ演奏を担当した藤満健が出演する。

幸田の情感あふれる豊かな歌声に乗って、日本の美しい秋や懐かしい情景に会いに、出かけませんか。

（文　金子真由）

[ソプラノ]**幸田浩子**　[ピアノ]**藤満 健**　**発売中**

[第一部]

この道（北原白秋・詩／山田耕筰・曲）／**かやの木山の**（北原白秋・詩／山田耕筰・曲）／**からたちの花**（北原白秋・詩／山田耕筰・曲）／**赤とんぼ**（三木露風・詩／山田耕筰・曲）／**鐘が鳴ります**（北原白秋・詩／山田耕筰・曲）／**ばらの花に心をこめて**（大木惇夫・詩／山田耕筰・曲）／**ちいさい秋みつけた**（サトウハチロー・詩／中田喜直・曲）／**里の秋**（斎藤信夫・詩／海沼 實・曲）／**ひぐらし**（北山冬一郎・詩／團 伊玖磨・曲）／**花季**（大木 実・詩／團 伊玖磨・曲）／**希望**（北原白秋・詩／團 伊玖磨・曲）

[第二部]

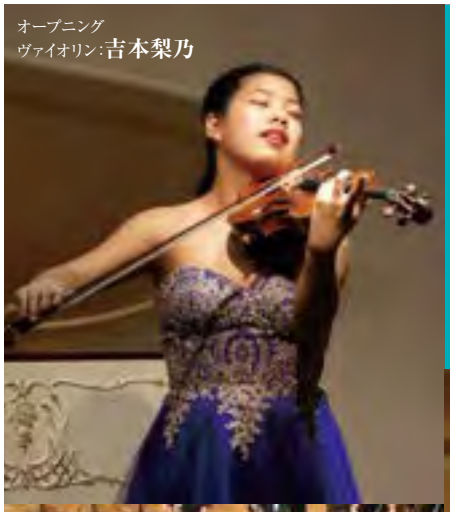
浜辺の歌（林 古渓・詩／成田為三・曲）／**椰子の実**（島崎藤村・詩／大中寅二・曲）／**浜千鳥**（鹿島鳴秋・詩／弘田龍太郎・曲）／**初恋**（石川啄木・詩／越谷達之助・曲）／**悲しくなったときは**（寺山修司・詩／中田喜直・曲）／**このみち**（金子みすゞ・詩／伊藤康英・曲）／**波雫**（なみだ）（菅野祥子・詩、曲）／**糸**（中島みゆき・詩、曲）／**見上げてごらん夜の星を**（永 六輔・詩／いずみたく・曲／藤満 健・編曲）

2020.10/3（土）7:00PM

全席指定 4,400円（税込）

[お問合せ]**ザ・シンフォニー チケットセンター** 06-6453-2333

[主催]**ザ・シンフォニーホール**


オープニング
ヴァイオリン:吉本梨乃

演奏:アルシス弦楽アンサンブル

新型コロナウイルスと闘って下さる方々へ

『拍手』と『感謝』を贈るコンサート

指揮:守山俊吾

#医療に関わる皆様へ

ありがとう

Thank You Healthcare Workers

コンサートのテーマは「感謝」、「人間愛」そして「拍手を贈ろう」

2020年に入って早々、全世界では「新型コロナウイルス感染症」の蔓延により多くの犠牲者が出ました。各国で医療崩壊が迫るなか、医師、看護師などの医療従事者が命がけで奮闘してくださいました。とりわけ状況が深刻だったイタリアでは、日本人ヴァイオリニストがクレモナの病院の屋上から感謝の気持ちを込めて、ヴァイオリンのソロをプレゼントしました。その映像は、とても印象的で、目に焼き付いています。

そんななか、日本でも命がけでウイルスと闘ってくださっている医療関係従事者の皆様に、〝拍手と感謝を心から贈るコンサート〟を実現することはできないか、と考え、この度、ボランティア団体である、私たち国際交流協会が企画しました。

このコンサートは昼公演、夜公演と2回行います。両公演のオープニングには、世界的ヴァイオリニスト ワディム・レーピンが、ブラームス国際コンクールの直後に「近い将来、世界クラスの大物スターになるだろう」と、絶賛した17歳のヴァイオリニスト 吉本梨乃が登場。彼女はウィーンから急遽帰国し、皆様に演奏を捧げます。

長い時間、音楽家は演奏する場を失い続けていました。私たちは、この状況下でも、演奏家として原点に立ち返り、真摯に音楽と向き合い、会場に足をお運びくださった方々との「時間」を大切に共有したいと考えております。そしてこのコンサートに出演する優秀なメンバーも同じ志で演奏に臨みます。

コンサートのテーマは「感謝」、「人間愛」そして「拍手を贈ろう」です。弦楽オーケストラのための作品から誰もが知る名曲をプログラムにラインアップしました。ホールが誇る最高の音響の中で、激務でお疲れの心と身体をゆったりとお休めください。

発売中

[指揮]守山俊吾
[MC]堀江政生(朝日放送テレビアナウンサー)
[オープニング・ヴァイオリン]吉本梨乃
[出演／昼]堀江詩葉、久米素子、西尾安梨沙、樋口成香
[出演／夜]鹿島早希子、齊藤舞歌、立川正美、山田千尋
[演奏]アルシス弦楽アンサンブル

ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11「ロマンス」／ブロッホ:フルートと弦楽オーケストラのための組曲「モーダル」／モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第2楽章「ロマンス」／チャイコフスキー:弦楽セレナーデ 第2楽章「ワルツ」／プリテン:シンプル・シンフォニー op.49より 第3楽章「センチメンタル・サハランド」
[オープニング]J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番より アダージョ／マスネ:歌劇「タイス」-第2幕「瞑想曲」／タルティーニ:ヴァイオリン・ソナタ ト短調「悪魔のトリル」／ヴィヴァルディ:四季より「春」
[昼のみ]J.S.バッハ:ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 ハ短調 BWV 1060
[夜のみ]グラズノフ:サクソフォン協奏曲 変ホ長調 op.109／カッチーニ:アヴェ・マリア　ほか

2020.8/21(金) 2:00PM／7:00PM
一般 4,000円 大学生以下 2,000円（税込）
[お問合せ]ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067
[主催]国際交流協会

医療関係者ご招待(各公演、先着300名様 限定)

●Web申込:右のQRコードよりWebにアクセスの上、お申込みください。
●Fax申込:国際交流協会 06-6367-1793
①氏名 ②ご住所 ③緊急連絡先の電話番号
④病院名・所属 ⑤2時公演 or 7時公演をご記入の上、FAX送信してください。
●お問合せ:mas.concert.ticket@gmail.com
(電話、FAXでのお問い合わせは受け付けておりません。)
●お申込み締切日:2020年8月11日(火)

ご記入漏れ等、申込書の不備は受け付けできませんので、よくご確認の上で送信下さい。